

事業の特徴

1. IoTを活用してコンクリートの状況を監視



自社開発のセンサーを活用したIoTソリューションにより、コンクリートの品質を監視。コンクリートを打設する施工段階において同社のセンサーを建設物に埋め込むことで、約25年間(製品寿命)にわたって監視可能。

3. リモートでもデータ取得



競合製品はBluetoothを利用したものが多く、データの取得には現場の近くまで行かなければならないが、同社の製品は、自動でセンサーがクラウド上にデータをアップロード。使用者は遠隔地からデータを取得し、モニタリングが可能。

マッチングニーズ

求める
都内企業像

- 建設会社・建設請負会社
- コンクリート製造会社
- プレハブ製造会社
- 日本でJoint Ventureを共同で立ち上げるパートナー企業

実現
したいこと

販路拡大、共同販売

- 建築業務を効率化したい。
- 建物の耐久性を改善したい。

事業概要 (サービス/製品)

- 自社で設計・開発したセンサーを活用し、コンクリートの品質を監視するIoTソリューションを提供。コンクリートの状況にリアルタイムでアクセスでき、建設業務や品質管理を効率化
- 「低消費電力広域ネットワークIoT技術」を採用しており、データはセンサーから直接クラウド上にアップロード。使用者は遠隔地からも状況を確認可能。また、製品寿命は25年と長期にわたるため、道路・鉄道・橋・トンネル・ダムなどの重要インフラとの適正も高い。



ConcRセンサー

- 高度なデジタルセンサーを搭載しており、コンクリートやスクリードなど建設資材の様々な物理パラメーターを測定可能。
- 温度・相対湿度・含水率などをリアルタイムで監視・分析。



ConcRボックス

- ConcRセンサーを接続して使用。センサーで感知した物理パラメーターをクラウドにアップロード。
- 丈夫でコンクリートに埋め込むこともでき、設置が簡単。
- 消費電力は少なく、単三電池で駆動。



事例

実施概要

コンクリートの早期亀裂防止

詳細

- 同社のサービスを導入することで、コンクリートの状態（温度や湿度など）を計測でき、コンクリートの品質に対する継続的なリスク評価が可能に
- 補強鋼材の露出やコンクリート強度低下などの状況を早期に把握でき、迅速な補強対応を可能にすることで、コンクリートの早期亀裂を防止
- また、施工時には湿度を測定することで、コンクリートの強度（乾き具合）を評価でき、正確なタイミングで型枠を外し次の工程に進むことが可能になり、結果として建設物の耐久性や構造の安全性を向上
- 多階建て立体駐車場の建設を得意とするドイツの Parkhausbau(DIP)社への導入実績有り。立体駐車場は湿気に弱いですが、ConcRのソリューションにより、耐久性・安全性の向上を実現



関連URL

詳細：<https://www.concr.de/solutions/temperature-and-strength-monitoring>

会社概要

業種分類：情報通信業

HP：<https://www.concr.de/>



日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	不可
日本での検討状況	日系建設会社とPoC実施実績あり（社名非公開） パートナーとの提携を皮切りに進出を検討		
その他			

会社概要

社名	ConcR		
会社HP	https://www.concr.de/		
所在地		ドイツ/ベルリン	
設立年	2019	従業員数	約10名
資本金	—	出資	—
主な事業内容	コンクリートやスクリードのようなセメント系建材の建設から運用までのライフサイクル全体にわたって、データを活用するIoTソリューションを提供		
事業パートナー・主要顧客	Aarsleff Rail、RIEDEL BAU、Wayss & Freytag、Parkhausbau(DIP)などドイツの大手建設会社		
海外展開状況	主にヨーロッパだが、小企業向けにはその他の地域でもビジネスを展開		
資金調達実績	—		